

令和6年度 旧安田楠雄邸庭園スタディーツアーを実施しました

1. 日 時: 令和6年6月23日(日) 10:00 ~ 13:00
2. 内 容: (1)日本ナショナルトラストによる文化財保存・活用について(説明)
(2)旧安田楠雄邸庭園の歴史と保存の取り組みについて(説明)
(3)施設見学
(4)ボランティア体験
(5)懇談会(懇談テーマ:自身が好きな自国の文化財とその保存と活用について)
(6)蓄音機での音楽鑑賞
3. 会 場: 旧安田楠雄邸庭園(文京区千駄木)
4. 参 加 者: 外国人留学生 13名(イタリア、台湾 各2名
ガーナ、カナダ、韓国、ケニア、中国、ドイツ、フィリピン、ブータン、ベラルーシ
各1名)
5. 実施状況:

本事業は、日本の文化遺産や自然遺産について、その歴史や保存の取組について知識を深める機会を外国人留学生に提供することを目的とし、昨年度に引き続き、公益財団法人日本ナショナルトラスト(以下、JNT)の協力を得て、同団体保有の旧安田楠雄邸庭園でのボランティア活動と見学を実施しました。旧安田楠雄邸庭園は大正時代に造営されたもので、近代和風住宅を含めた庭園が東京都指定名勝となっています。

はじめに、本協会より事業紹介とスタディーツアーの実施目的について説明したのち、JNTより文化財保存・活用の概要と旧安田楠雄邸庭園の歴史と保存の取組についてお話いただきました。参加者はJNTの活動について熱心に聞き入っていました。

次に、ボランティアの方の解説を聞きながらの施設見学を行いました。それぞれの部屋の役割についての解説を熱心に聞きながら見て回りました。

続いて、ボランティア体験として、3班に分かれて窓の棧のほこり取り、敷居の掃除とイボタ塗、板の間水拭きを行いました。清掃ボランティアも楽しんで体験することができました。

ボランティアを頑張っていた後は和菓子とお茶をお楽しみいただきました。今年は「若鮎」という、鮎の形を模した初夏の和菓子をご用意しました。窓の外の新緑を眺めながら若鮎を召し上がっていただき、季節感を感じていただいたところで、「自身が好きな自国の文化財とその保存と活用について」をテーマとした懇談に移りました。自国の文化財について説明してもらいましたが、民営の文化財は集客のため謎解きゲームを開催したりハロウィンイベントを実施したりしているところもあるそうで、各国変わらず工夫しながら文化財の活用をしていることが分かり主催者側にとっても興味深い話を聞くことができました。

最後に、毎年恒例の100年前の蓄音機での音楽鑑賞。ジルヒャー作曲のローレライとショパン作曲のノクターンの2曲をお聴きいただきました。

毎年少しずつ内容を変えて実施している本スタディーツアー。今回は懇談を設け、各国の文化財について理解を深めることができました。日本の文化財のみならず、各国の文化財保存と活用についても学びが得られた素晴らしい回となりました。

6.参加者の感想

- ・ボランティア活動を通じて家の壊れやすい部分をどのようにケアしているか知ることができた。
- ・家の説明もよかったし、蓄音機での音楽鑑賞は幸せなひとときでした。
- ・レクチャーが詳しく面白かった。日本人がいかにして自分たちの歴史的建造物を注意深く保存しているかに感銘を受けた。

7. 当日の様子





以上